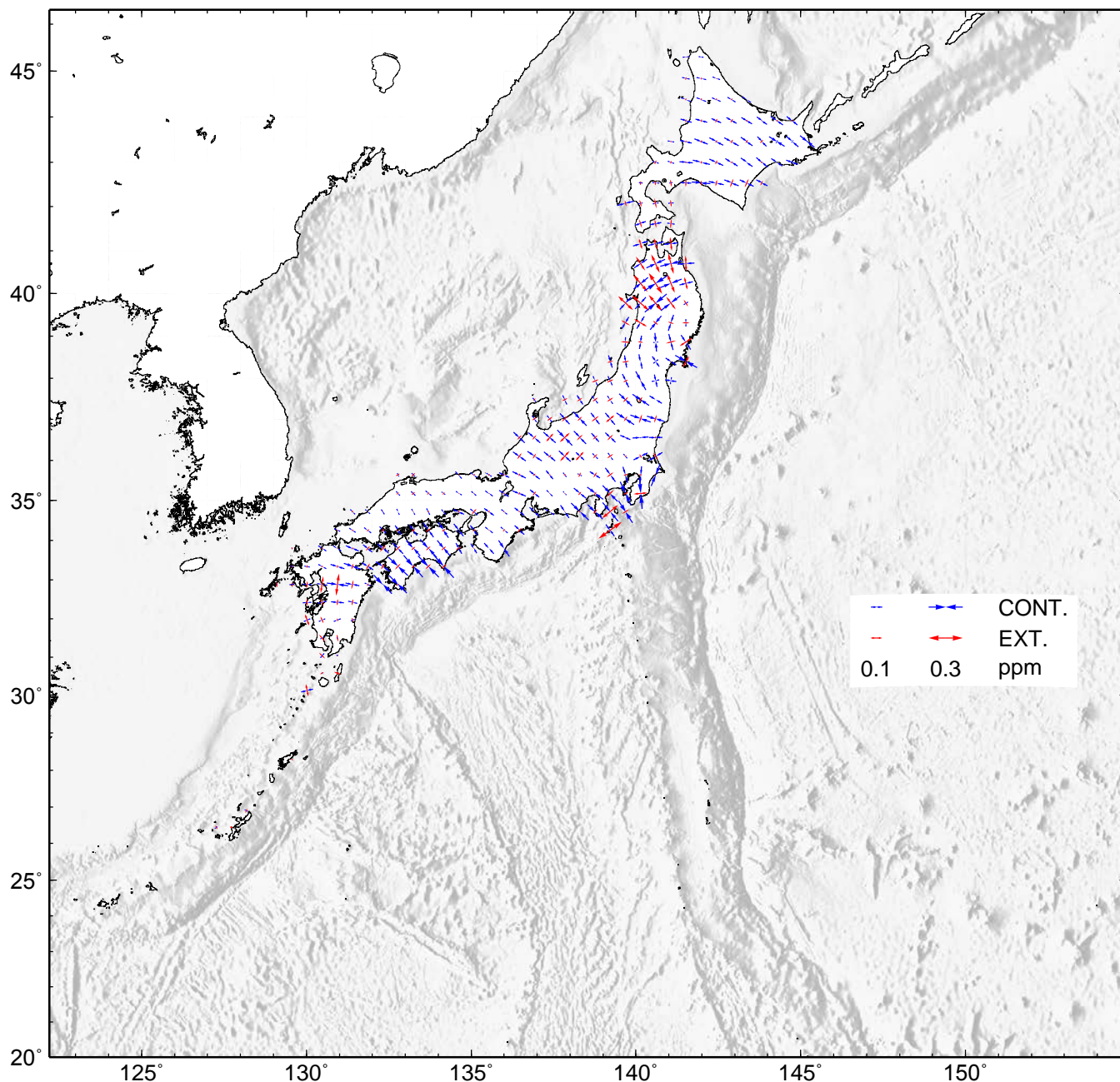


GNSS 連続観測から推定した日本列島のひずみ変化

- 平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の余効変動の影響によるひずみが見られる。
- 平成 28 年（2016 年）熊本地震の余効変動の影響によるひずみが見られる。
- 四国西部では、2018 年春頃から始まったプレート間のゆっくりすべり（スロースリップ現象）の影響によるひずみが見られる。

基準期間：2019/07/11 - 2019/07/25 [F 3：最終解]

比較期間：2020/07/11 - 2020/07/25 [F 3：最終解]



- GNSS 連続観測による変位ベクトルからひずみ変化図を作成した。
- 海底地形データは ETOPO1 (Amante, C. & B. W. Eakins(2009)) を使用した。